

arrows Alpha2 M10

製品ガイド

RA92999-0044
'26.7 (1 版)

本端末をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に本書をお読みいただき、正しくお使いください。

■マニュアルについて

本端末のマニュアル構成は以下の通りです。

■クイックスタートガイド

本端末の接続、電源オンまでを説明しています。

■製品ガイド [本書]

本端末のハードウェア、ソフトウェアの主な操作方法の説明や技術情報を記載しております。

- 本書の内容は 2026 年 7 月現在のものです。
- 本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。
- 本書内の「認証操作」とは、機能に応じて暗証番号やパスワードを入力する操作を表しています。

■本体付属品

お使いになる前に、必ず付属品を確認してください。万が一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。

- ☐ arrows Alpha2 M10 本体
- ☐ クイックスタートガイド

■本端末のハイセイフティ用途での使用について

本端末は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本端末を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■使用許諾契約書

FCNT 合同会社（以下弊社といいます）では、本端末にインストールされているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを本端末でのみ使用できます。なお、お客様は本端末のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本端末に添付されているマニュアルを含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本端末とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。

3. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

4. 壁紙の使用条件

本端末の出荷時に初期設定されている壁紙は、お客様がその壁紙を改変したり、第三者へ配布することとはできません。

5. 保証の範囲

（１）弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

（２）本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

6. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

FCNT 合同会社

■ 安全上のご注意（必ずお守りください）

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告表示について

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ 1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ 1 を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※ 2 を負う可能性が想定される場合および物的損害※ 3 の発生が想定される」内容です。

- ※ 1. 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※ 2. 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3. 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の図記号を使っています。

図記号の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れたり濡らさないでください。

また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能について→ P.14 「防水／防塵性能に関する注意事項」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本端末の外装ケースは取り外せません。取り外そうとしないでください。また内蔵電池の膨れ等により、本端末が膨れている場合も、外装ケースを取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、指定のものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

本端末のお手入れの際は、消毒液や水分が隙間、充電端子や外部接続端子及び、マイクやスピーカ部に入らないようにしてください。

本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内では充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く。

- ・本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能について→ P.14「防水／防塵性能に関する注意事項」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手に届く場所、およびペットが触れる場所に置かないでください。

スロットキャップのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

指示

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止



本端末内のスロットキャップの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やステープラーの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIM カードや microSD カードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



緊急時ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障がいの原因となります。

禁止



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

指示

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

アプリにより本端末を傾けることにより画面を切り替えるなどの機能のご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本端末は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について→ P.11 「材質一覧」



指示

本端末のアウトカメラ部、受話口／スピーカー部、スピーカー部、バイブレータ部（背面下部）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やステープラーの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■充電用機器について

警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

AC アダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な AC アダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。

AC アダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能な AC アダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIM カードについて

注意



指示

SIM カードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ 医用電気機器について

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離れるように携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

□本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AF コーティング
外装ケース	側面	アルミニウム＋樹脂（PMH+GF40%）／ ヘアライン処理、アルマイト処理
	背面	GFRP ／ハードコート
フラッシュライトパネル		PMMA ／なし
アウトカメラパネル		強化ガラス／AF コーティング
カメラフレーム		アルミニウム／アルマイト処理
電源キー／指紋センサー		EMC ／アクリル系 UV 硬化塗装処理
音量キー		アルミニウム／アルマイト処理
アクションキー		アルミニウム／テクスチャ処理、アルマイト処理
スロットキャップ	キャップ本体	アルミニウム／ヘアライン処理、アルマイト処理
	キャップ本体 パッキン部	シリコンゴム／なし
	トレイ	PC-GF 樹脂 +SUS ／なし
USB Type-C 接続端子		PA 樹脂／なし
脈波センサーパネル		PMMA ／AF コーティング

■ 使用上のご注意

本端末をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」(→ P.3) もあわせてご覧ください。

本体取り扱い上の注意

- 本端末の防水性能 (IPX6、IPX8、IPX9 相当)、防塵性能 (IP6X) を発揮するために、スロットキャップをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本端末内部に水を浸入させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでのスロットキャップの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、かばんなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本端末のディスプレイは強化ガラスを使用しておりますが、無理な力や強い衝撃を与えたりすると割れるおそれがあります。万が一、ディスプレイが欠けたり割れたりしたときは、使用を中止し破損部に触れないでください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。なお、風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度 45%～99% (ただし、温度 36℃以上または湿度 86% 以上は一時的な使用に限ります) の範囲でご使用ください。充電は5℃～35℃の範囲でしていただき、風呂場や湿度の高い場所では充電しないでください。風呂場でのご使用については、「風呂場での使用について」(→ P.15) をご参照ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて充電端子を変形させないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、本端末内部が腐食し故障の原因となります。
 - 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナーなどを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 電化製品 (テレビ、スピーカーなど) をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。
- アプリ使用中および充電中など、ご使用状況によっては本端末が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 本端末本体に充電用機器を接続する際は、充電用機器のコネクタの形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って接続すると、破損・故障の原因となります。うまく接続できない場合は、無理に接続せず、接続し直してください。
- USB OTG 機能は、接続される USB 機器への給電を行うため、常に USB Type-C 接続端子内部に電圧がかかります。USB Type-C 接続端子は清潔に保ち、内部に直接触れないでください。
- お子様のご使用になる場合は、危険な状態にならないように管理者・指導者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがの原因となります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
- USB Type-C 接続端子に外部機器などをお使いになるときは、端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損、故障の原因となります。
- キャッシュカード、クレジットカード、交通系 IC カードなどの磁気を帯びたものを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- microSD カードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり本端末の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

- 外部接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電、傷害、故障の原因となる場合があります。
- 落下などによって破損し、本端末の内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作（音楽再生など）はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。また、自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。自転車運転中の使用も法律で罰せられる場合があります。
- 本端末は防水性能を有する機種ですが、万が一、水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）がスロットキャップから本端末に入った場合には、ご使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱、発火、故障の原因となります。
- コンセントや配線機器の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- ステレオイヤホン（市販品）などを本端末に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命です。ご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- カメラ、Wi-Fi® などのアプリを使用中に、本端末が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。やけど、故障、発火、火災の原因となります。
- 画面を長時間見続けしないでください。「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。

防水／防塵性能に関する注意事項

「防水／防塵性能に関する注意事項」の内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 防水／防塵性能について

- 本端末はスロットキャップをしっかりと取り付けた状態で IPX6 相当※ 1、IPX8 相当※ 2、IPX9 相当※ 3 の防水性能および IP6X 相当※ 4 の防塵性能を有しています。また、MIL 規格に準拠する試験※ 5 をクリアした耐衝撃構造を採用しています。
 - ※ 1 IPX6 相当：内径 12.5mm の注水ノズルを使用し、約 3m の距離から 100L/ 分の水を最低 3 分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
 - ※ 2 IPX8 相当：常温で水道水、かつ静水の水深 1.5m の水槽に本端末を静かに沈め、約 30 分間水底に放置しても、本端末内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。
 - ※ 3 IPX9 相当：高温・高圧水・スチームジェット洗浄を 80℃の湯を指定された形状のノズルで 10 ～ 15cm の距離から、80 ～ 100bar の水圧で放水（14 ～ 16L/ 分）、本体を水平方向に 0 度・30 度・60 度・90 度で各方位に 30 秒ずつ水平面上で回転させながら実施したのちに通信機器として機能を有することを意味します。
 - ※ 4 IP6X 相当：IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μm 以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本端末を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
 - ※ 5 米国国防総省が制定した MIL-STD-810H Method 516.8 Procedure IV に準拠した独自の落下試験を実施しています。
- 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→ P.14）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、指定（→ P.14）以外の石鹸などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→ P.19）で水抜きしてください。
- 本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます（当社試験方法による）。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
 - ※本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。洗いかたについては「洗い方について」をご参照ください。→ P.16
- 本端末についた泡は、やや弱めの水流（6 L / 分以下、常温の水道水）で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。
- スロットキャップが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に閉じてください。
 - ※スロットキャップの閉じ方は「防水／防塵性能を維持するために」をご参照ください。→ P.18
- 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ 風呂場での使用について

- 風呂場でご使用後は、所定の方法（→ P.19）で水抜きしてください。
- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→ P.19）で水抜きしてください。
- 温泉や指定（→ P.14）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%（ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）の範囲でご使用ください。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用にあたって、すべての状況での動作および無破損・無故障を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
- 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タッチ操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

■ ご使用にあたっての重要事項

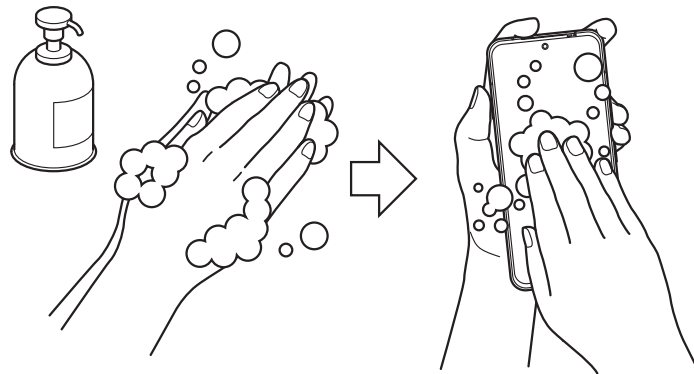
- 砂浜などの上に直接置かないでください。USB Type-C 接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップなどに砂などが入り音が小さくなったり、本端末本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。手や本体が濡れている状態でのスロットキャップの開閉は絶対にしないでください。
- USB Type-C 接続端子が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態で使用しないでください。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイクに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C 接続端子に水滴を残さないでください。
- 水中で本端末を使用（キー操作を含む）しないでください。
- 湿気の多い場所には長時間放置しないでください。
- 本端末本体の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。
例：石鹸・洗剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗
- USB 接続機器は防水／防塵性能を有していません。本端末の USB Type-C 接続端子に機器を接続している状態では、濡らさないようにしてください。
- 水濡れ後は本体の隙間に水が溜まっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に USB Type-C 接続端子、キー部内の水を抜いてください。
- 受話口／スピーカー、スピーカー、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイクに水が溜まり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。
※やや強い雨（1時間の雨量が20mm未満）まで
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、本端末に水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのスロットキャップの開閉は絶対にしないでください。
- 濡れた手で持って操作できますが、水には浸けないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因になります。
- 落下させたりしないでください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 強い流水（6L／分を超える）をかけないでください。
- 炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。
- やや弱めの水流（6L／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗えますが、高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。

■ 洗い方について

- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケースなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。
- 塩素や塩素系添加物の含有量が 0.05w/v% 以下の液剤をご使用ください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みのうえ、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接付けないでください。原液が付いた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷が付くおそれがあります。
- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップはしっかりと閉じてください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→ P.14）以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

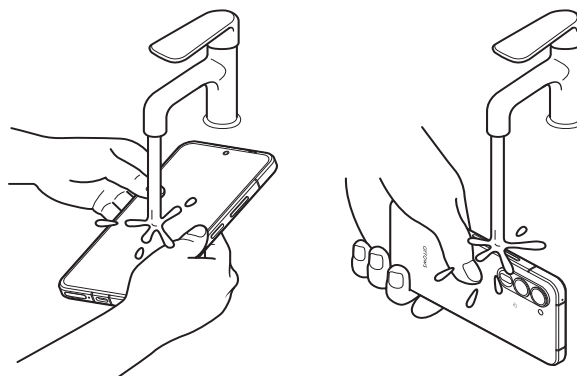
① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。

- スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



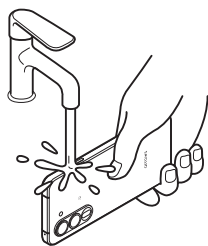
② 前面、背面、各キーなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で洗ってください。
- スロットキャップの開閉はしないでください。
- スロットキャップに直接水をかけないでください。

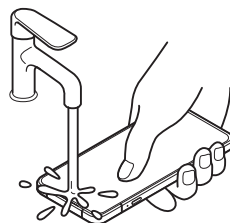


③ 受話口／スピーカー、セカンドマイク、送話口／マイク、USB Type-C 接続端子、スピーカーをすすいでください。

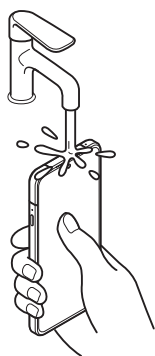
- 受話口／スピーカー、セカンドマイク、送話口／マイク、スピーカーに泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。また、USB Type-C 接続端子は充電不良など故障の原因となります。しっかり洗い流してください。



通気孔



受話口／スピーカー



セカンドマイク



送話口／マイク
USB Type-C接続端子
スピーカー

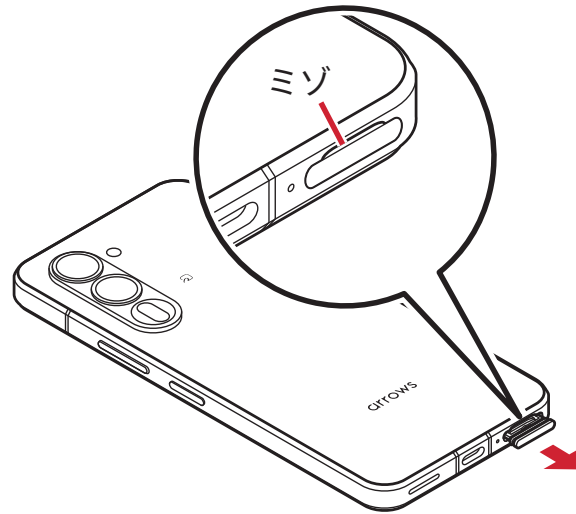
④ 水抜きをしてください。

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

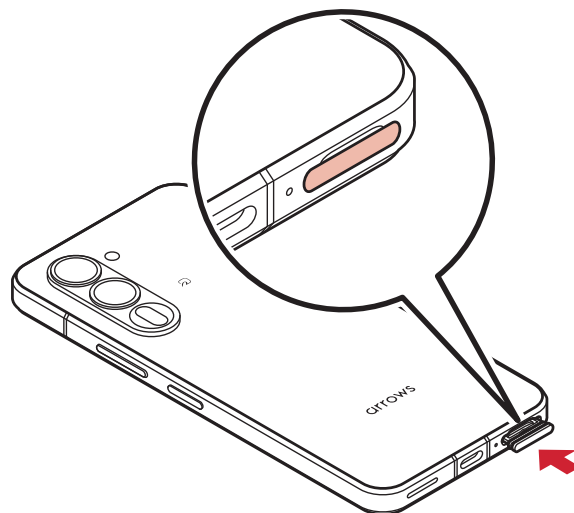
■ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- SIM カードや microSD カードの取り付け／取り外し時には、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開け、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。
- ※スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。



- スロットキャップを閉じるときは、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込んでしっかりと押し、本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



● ゴムパッキンについて

スロットキャップのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- スロットキャップを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないように注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
- スロットキャップの開閉などをするときには手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると水や粉塵が入る原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。
- スロットキャップの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、水や粉塵が入る原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、2年ごとに交換することをお勧めします（有償）。ゴムパッキンの交換については、お客様自身による交換不可のためご購入元にご連絡ください。

●水以外が付着した場合

万が一、水以外（海水／洗剤／砂／泥など）が付着してしまった場合、直ちに水で洗い流してください。

- ・やや弱めの水流（6 L／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で常温の水道水で洗えます。
- ・洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

●水で濡れたあとは

- ・水で濡れたあとは水抜きをし、乾いた清潔な布で本端末の水滴を拭き取ってください。

※USB Type-C 接続端子がショートするおそれがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。

※USB Type-C 接続端子に水滴が付着したまま使用しないでください。

※寒冷地では本端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

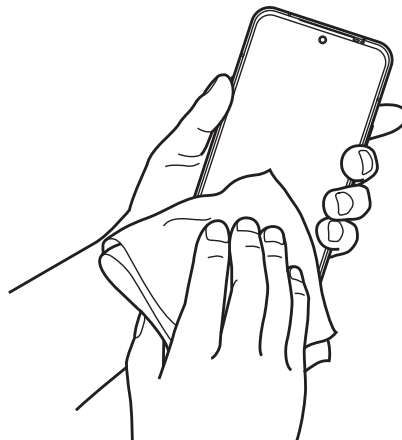
- ・本端末に水滴が付着したまま放置しないでください。USB Type-C 接続端子、キー部分は水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分は本端末を振るなどして払い落としてください（この場合、周囲に注意し、本端末を振り落とさないよう十分ご注意ください）。残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。
- ・本端末に水や雪がついた場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。拭き取れなかった水や隙間にたまった水で衣服やかばんなどを濡らす場合がありますのでご注意ください。
- ・USB Type-C 接続端子は、十分に乾燥したことを確認のうえで使用してください。水滴が残ったままの状態で使用すると、故障の原因となります。

●水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合があります。

以下の手順で水抜きを行ってください。

- ①本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

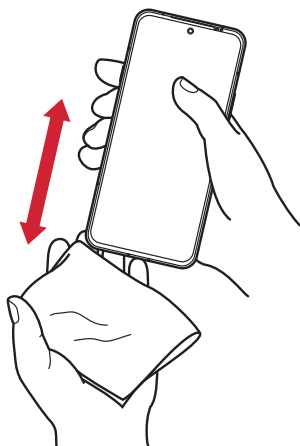


- ②本端末をしっかりと持ち、20 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口／スピーカーとフラッシュ／ライトの位置を入れ替えて同じように振ってください。

- ・本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



- ③ USB Type-C 接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、セカンドマイク、キーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を 10 回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 充電に関する注意事項

充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- 濡れたまま本端末を充電しないでください。水に濡れたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってください。
- USB Type-C 接続端子に水滴や異物が入っていないか確認のうえ、ご使用ください。
- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手で充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 充電用機器は、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。
- 充電用機器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■ その他の注意事項

- 温泉や指定（→ P.14）以外の石鹸、入浴剤の入った水などには絶対に浸けないでください。また、水中で使用したり、水中に長時間沈めたりしないでください。故障の原因となります。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- 耐熱性について
熱湯、サウナ、熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。耐熱設計ではありません。
- 衝撃について
落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、USB Type-C 接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 本端末は水に浮きません。
- 周囲温度 5℃～35℃、湿度 45%～85% の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- スロットキャップに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。

有寿命部品について

- ・本端末には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本端末をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本端末をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。

＜主な有寿命部品一覧＞

ディスプレイ

消耗品について

内蔵電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。

海外での使用について

本端末は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

お使いのSIMカードによっては海外でご利用できない場合があります。詳細はSIMカードの提供元へお問い合わせください。

本端末について

- ・電池残量が0%になり、そのまま長時間充電しない場合、日時の設定がリセットされます。電池残量が0%になる前に、ACアダプタを接続して充電することをお勧めします。
電池残量が0%になった場合は、ACアダプタを接続し、5分以上充電してから起動してください。
日時は次の手順で設定します。ホーム画面で「設定」→「システム」→「日付と時刻」
- ・microSDカードが認識されない場合は、次の手順でマウントの操作を行ってください。
ホーム画面で「設定」→「ストレージ」→「このデバイス」→「SDカード」→ ⋮ → 「マウント」
- ・本端末をUSBケーブルでパソコンに接続している場合、データ転送中はUSBケーブルを抜かないでください。
- ・GPS機能を使って測位する場合、時間がかかることがあります。

本端末のご利用について

- ・本端末は、5G・4G(LTE)・W-CDMA・GSM/GPRS・Bluetooth®・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコン  が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・4G(LTE)・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSD カードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi 通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 位置情報の設定が ON の場合には、位置情報の精度向上を行うためのデータを取得するため、定期的にパケット通信が発生します。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態にアップデートすることができます。→ P.51
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は不要なアプリやデータを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一、本端末を紛失した場合は、Gmail、Google Play などの Google サービスや、SNS などのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本端末内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- 本端末に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって、操作方法や画面表示が予告無く変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アプリによっては、microSD カードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には、動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。
改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で「設定」→「端末情報」→「規制ラベル」
本端末のケースを開けたり、内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

タッチパネルについて

- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、画面ロックの状態でご収納してください。画面ロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、タッチパネルへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- タッチパネルにシールなどを貼らないでください。また、シート類（覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、けがの原因となる場合があります。
- タッチパネル表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でタッチパネル表面を乾拭きしてください。

内蔵電池について

- 夏期に閉めきった車内に放置するなどの極端な高温環境や、極端な低温環境では、電池の容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。また、電池寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命です。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池残量が少なくなると、警告メッセージが表示され、しばらくすると電源が切れます。電池切れの状態でも充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の残量表示は、劣化度や使用環境、使用状況により数値をまたぐような変化になることがあります。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - 充電完了後すぐの状態での保管
 - 電池残量なしの状態での保管
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が 40% 程度の状態をお勧めします。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

- リチウムイオン電池は埋蔵量の少ない高価な稀少資源を使用していますが、これらの貴重な資源はリサイクルして再利用できます。リサイクルにご協力ください。



Li-ion 00

このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

充電用機器について

- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 充電用機器のケーブルをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災の原因となります。
- 充電用機器の電源プラグやコネクタとケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災の原因となります。

カメラについて

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。
- 本端末の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあります。この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切な撮影をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や雑誌、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

消毒・除菌について

- 本端末はアルコール除菌シート・スプレーを使用して、噴霧または拭き取りにより、本端末の消毒や一定量のウイルス除去ができます。※1
- 本端末を除菌・消毒する際には、誤動作防止のため画面を消灯してから行ってください。
- スプレーをご使用の場合は、本端末から 5cm 程度離し、霧吹きで噴霧して拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。アルコール除菌シートまたは液剤を浸み込ませたキッチンペーパーをご使用の場合は、製品を拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。
- 使用できる薬剤等は以下のとおりです。

※1 アルコール※2、次亜塩素酸水、界面活性剤（台所用洗剤）、界面活性剤（家具用洗剤）厚生労働省・経産省 [独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）]・消費者庁発表の消毒方法をもとに、FCNT 合同会社試験方法により検証実施済み（本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての消毒用製品・洗剤で洗えることを保証するものではありません）。

※2 市販の消毒液およびウェットティッシュ（いずれもアルコールタイプ、ノンアルコールタイプを含みます）は、塩素や塩素系添加物（ベンザルコニウムクロリドなど）の含有量が 0.05w/v% 以下のもの。

音楽／動画について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律で罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、ステレオイヤホン（市販品）からの音漏れにご注意ください。

著作権・肖像権について

- お客様が本端末で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

SIM カードについて

- SIM カードの IC（金属）部分を汚したり、金属などをあててショートさせたりしないでください。静電気などにより内部データが変化、消失、故障するおそれがあります。
- 傷つけたり、折ったり、曲げたり、重いものをのせたりしないでください。また、落としたり衝撃を与えたりしないでください。内部データの消失、故障の原因となります。
- SIM カードの IC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

ご利用いただく各種暗証番号について

- 本端末をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

放熱について

- 本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- 油を使用する場所の近くでは、使わないでください。油分が本体内部に入って放熱部品などに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

Bluetooth 機能／Wi-Fi 機能について

- 本端末の Bluetooth 機能は日本国内の技術基準認定を取得しています。
- 本端末の Wi-Fi 機能は日本国内の技術基準認定を取得しています。
- 一部の国／地域では Bluetooth 機能や Wi-Fi 機能の利用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Wi-Fi や Bluetooth 機器が利用する周波数帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の Wi-Fi のアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での利用につきましては、ご利用になられる航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

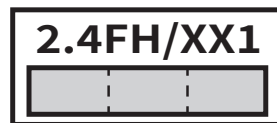
2.4GHz 帯ご使用上の注意

本端末の Bluetooth 機能および Wi-Fi 機能は、2.4GHz 帯を利用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本端末の利用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 本端末はすべての Bluetooth 対応機器、Wi-Fi 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての Bluetooth 対応機器、Wi-Fi 対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth 機能、Wi-Fi 機能の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth 機能、Wi-Fi 機能によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Wi-Fi は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定によっては、悪意ある第三者により、通信を傍受されたり、不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth 通信、Wi-Fi 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth 機能と Wi-Fi 機能は同じ無線周波数帯を利用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth 機能、Wi-Fi 機能のいずれかの利用を中止してください。

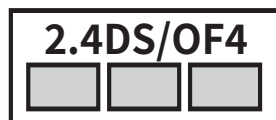
本端末の Bluetooth 機能および Wi-Fi 機能は、2.4GHz 帯の周波数を利用します。

Bluetooth 機能：2.4FH/XX1



本端末は 2.4GHz 帯を利用します。変調方式として FH-SS 変調方式および其他方式を採用しています。与干渉距離は約 10m 以下です。全帯域を利用し、移動体識別装置の帯域を回避できません。

Wi-Fi 機能：2.4DS/OF4



本端末は 2.4GHz 帯を利用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。全帯域を利用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

利用可能なチャネルは、国により異なります。航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。圏外の場合には、国内外に関わらず 2.4GHz 帯の 12、13 チャネルは使用できません。

5GHz 帯ご使用上の注意

本端末の Wi-Fi 機能は 5GHz 帯を利用できます。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております（5.2GHz 帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。本端末が使用するチャネルは以下の通りです。

- W52（5.2GHz 帯／ 36,40,44,48ch）
- W53（5.3GHz 帯／ 52,56,60,64ch）
- W56（5.6GHz 帯／ 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）

6GHz 帯ご使用上の注意

6GHz の送信電力クラスは LPI（Low Power Indoor）と VLP（Very Low Power）に対応しています。6GHz 帯無線 LAN の LPI モードでの屋外利用は法律で禁止されています。

本端末が日本で使用できる周波数は次のとおりです。

- 6GHz 帯：5925MHz ～ 6425MHz

FeliCa および NFC リーダー／ライターについて

- 本端末の FeliCa および NFC リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は 13.56MHz 帯です。周囲で他のリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにいることを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認のうえ、ご利用ください。

■ 注意

- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で利用してください。
本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

おサイフケータイ対応端末のご利用について

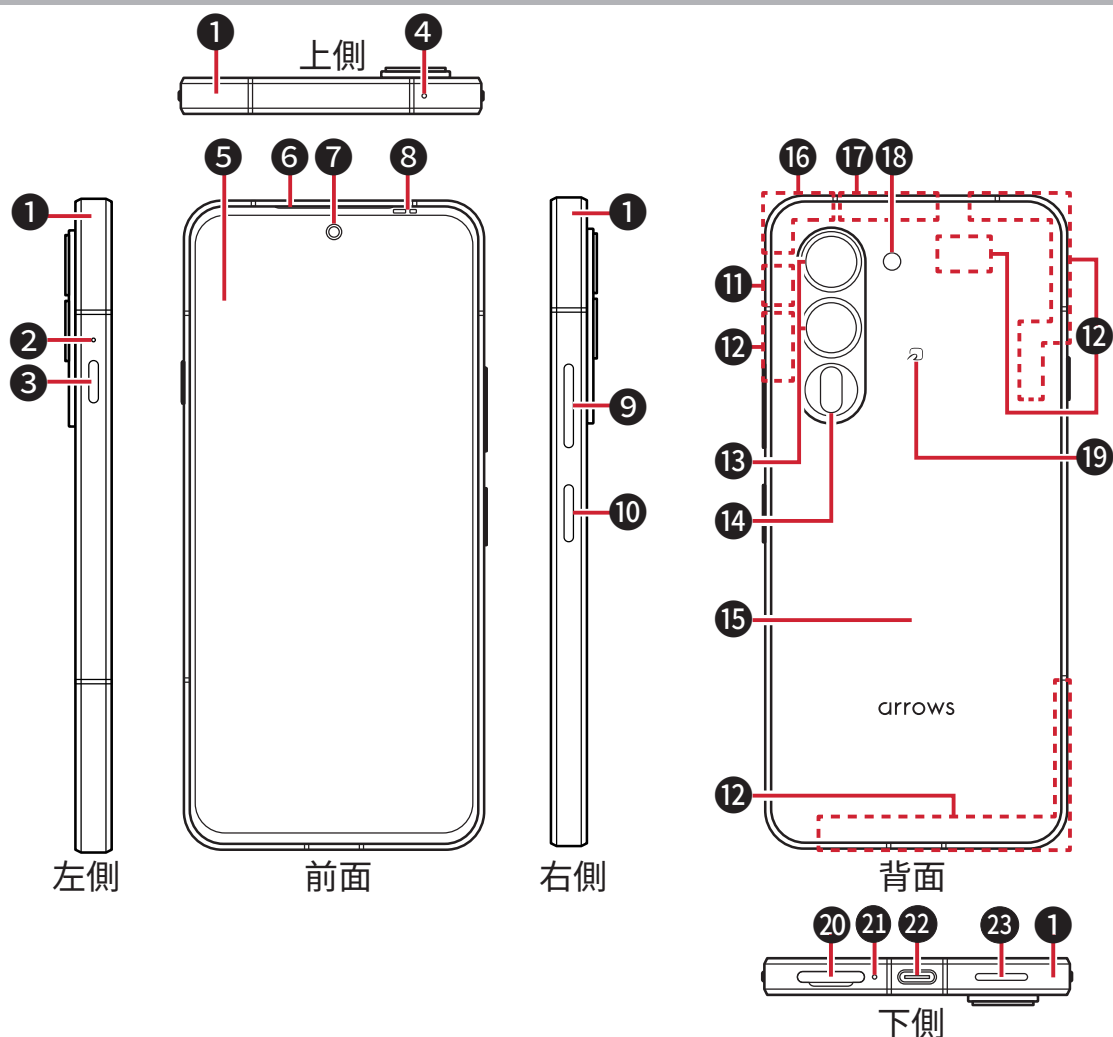
次のサイトにアクセスし、「おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意」を必ずお読みのうえ、ご利用ください。

https://www.fcnt.com/support/guarantee/pdf/index_01.pdf

- 本端末の故障により、IC カード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
※おサイフケータイ対応端末に搭載された IC カードに保存されたデータ
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、IC カード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

■ご使用前の準備

各部名称 本体



- ① 外装ケース（側面）
- ② 通気孔
- ③ アクションキー
 - ・お気に入りのアプリを選択し、最大3つの機能を利用することができます。
 - ・アプリを設定するには、ホーム画面で[設定] → [ジェスチャー] → [アクションキー]を選択します。
- ④ セカンドマイク※1
 - ・通話時に騒音を抑えるために使用します。また、ハンズフリー通話中は送話口として使用します。
 - ・動画撮影時の音声の録音にも使用します。
- ⑤ ディスプレイ（タッチパネル）
- ⑥ 受話口／スピーカー※1
- ⑦ インカメラ
- ⑧ 近接センサー／照度センサー※2
 - ・通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- ⑨ 音量キー
 - ・各種音量の調節やカメラの撮影などに使用します。
- ⑩ 電源キー／指紋センサー※3
 - ・電源を入れる／切る、画面を点灯／消灯する、再起動、緊急通報、指紋認証を利用するときに使用します。
 - ・電源キーを押したときに起動する機能の設定をすることができます。設定するには、ホーム画面で[設定] → [ジェスチャー] → [電源キー]を選択します。
- ⑪ Wi-Fiアンテナ部※4
- ⑫ 5G／4G アンテナ部※4
- ⑬ アウトカメラ

- ⑭ 脈波センサー※3
- ⑮ 外装ケース（背面）
- ⑯ 5G／4G／GPS アンテナ部※4
- ⑰ Wi-Fi／Bluetooth／GPS アンテナ部※4
- ⑱ フラッシュ／ライト
- ⑲ マーク
- ⑳ スロットキャップ※5
- ㉑ 送話口／マイク※1
- ㉒ USB Type-C 接続端子（防水）
 - ・充電時やパソコンの接続などに使用します。USB Power Deliveryに対応しています。
 - ・超急速充電に対応しています。超急速充電を行うには、90Wの充電に対応した充電器およびUSBケーブルをご使用ください。
- ㉓ スピーカー
 - ※1 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりしないでください。
 - ※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると誤動作したり正しく検知されない場合があります。
 - ※3 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、正しく検知されない場合があります。
 - ※4 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
 - ※5 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

SIM カードについて

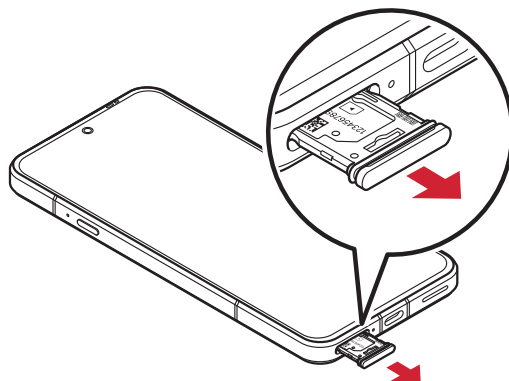
SIM カードとは、電話番号などのお客様情報が記録されている IC カードです。

■ SIM カードの取り付け／取り外し

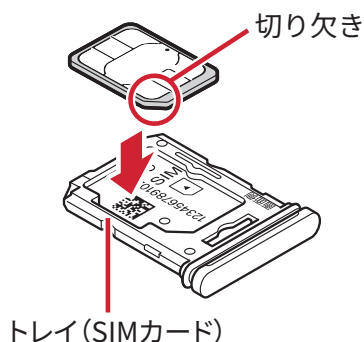
- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

<取り付けかた>

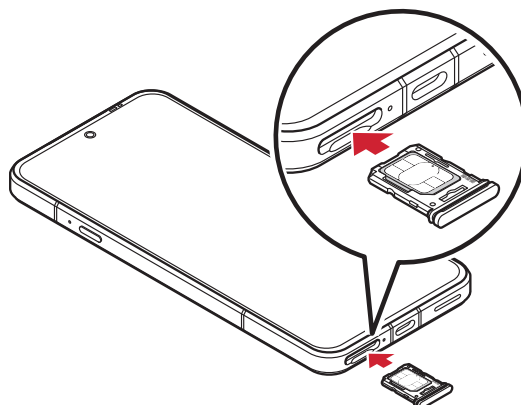
- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける
- ② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す
 - スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。



- ③ SIM カードの IC 面を上にして切り欠きをスロットキャップ側に向けた状態で、スロットキャップのトレイ（SIM カード）にはめ込む
 - 切り欠きの方向にご注意ください。
 - スロットキャップのトレイから SIM カードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ 本端末のスロットキャップをしっかりと押して閉じる
 - 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

<取り外しかた>

- ①本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける
- ②スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す→ P.29
- ③SIM カードをスロットキャップのトレイから取り外す
- ④本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、スロットキャップをまっすぐ水平に差し込む→ P.29
- ⑤スロットキャップをしっかり押して閉じる

お知らせ

- SIM カードが本端末に取り付けられていない、または eSIM(→ P.30) が設定されていないと電話の発着信や SMS の送受信などの機能を利用することができません。
- SIM カードを取り扱うときは、IC が汚れたり、傷つかないようにご注意ください。また、SIM カードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、SIM カードが壊れることがありますのでご注意ください。

eSIM について

本端末には、電話番号などのお客様情報を登録する eSIM が内蔵されています。端末に SIM カードを差し替えることなく、ご契約と設定のみで回線をご利用いただくことができます。

■ eSIM をダウンロードする

1. ホーム画面で [設定] → [ネットワークとインターネット] → [SIM とモバイルネットワーク] → [+新しい eSIM をダウンロード] → [eSIM を設定]
2. 画面の指示に従って設定

お知らせ

他のデバイスから SIM を移行することもできます。

- [他のデバイスから SIM を移行する] を選択し、画面の指示に従ってください。
- eSIM に関する詳細は、ご契約の通信事業者にご確認ください。

microSD カードについて

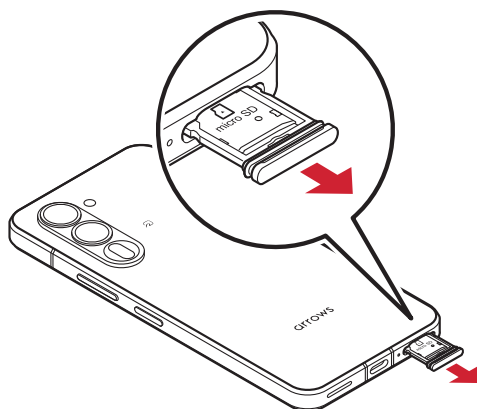
本端末内のデータを microSD カードに保存したり、microSD カード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

■ microSD カードの取り付け／取り外し

- スロットキャップに SIM カードを取り付けた状態で、microSD カードの取り付け／取り外しをするときは、電源を切ってから行ってください。

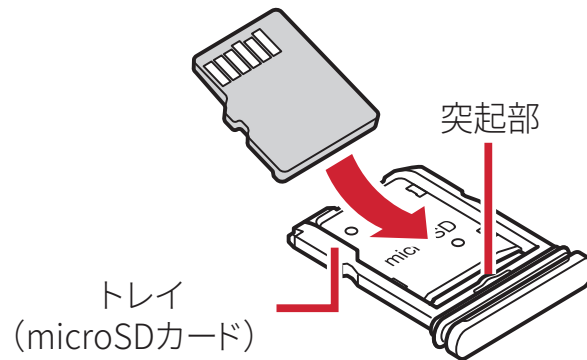
<取り付けかた>

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

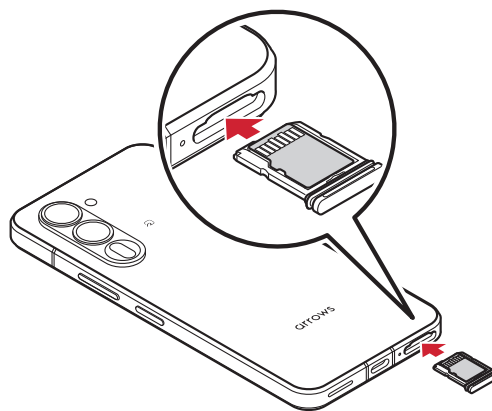


③ microSD カードの金属端子面を上にして、スロットキャップのトレイ（microSD カード）にはめ込む

- microSD カードの向きにご注意ください。
- スロットキャップのトレイから microSD カードが浮かないようにはめ込んでください。浮き上がった状態のまま本端末に取り付けると、破損または取り外せない原因となります。



④ 本端末のディスプレイ側が下を向いていることを確認して、スロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる

- 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

<取り外しかた>

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す→ P.30
- ③ microSD カードをスロットキャップのトレイから取り外す
- ④ 本端末のディスプレイ側が下を向いていることを確認して、スロットキャップをまっすぐ水平に差し込む→ P.31
- ⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる

 お知らせ

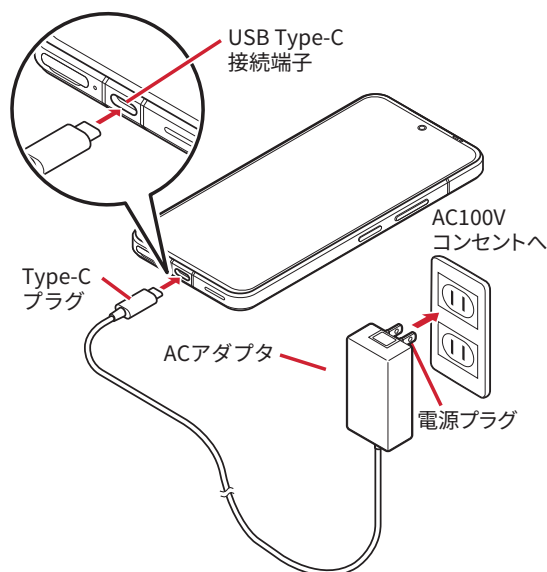
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、2TB までのmicroSDXCカードに対応しています。
- 市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。対応の microSD カードは各 microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- microSD カードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■ AC アダプタを使っの充電

- ① AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- ② AC アダプタの USB Type-C プラグを、USB Type-C 接続端子に水平に差し込む



- ③ 充電が終わったら、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末から AC アダプタの USB Type-C プラグを水平に抜く

■ パソコンを使っの充電

USB Type-C ケーブルを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

お知らせ

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをお勧めします。
- 充電中は本端末や AC アダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになります。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになります。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになります。充電器から取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、本書巻末に記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- 電池切れの状態での充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電器を接続したまま長時間使用する際は、電池長持ち充電を設定することを推奨します。電池長持ち充電ではフル充電時の充電量の約 80% で充電を停止する動作となり、電池の寿命を延ばすことができます。ただし、フル充電量が少なくなる分、端末の稼働時間は短くなります。また、ダイレクト給電では画面が点灯している間、電池に充電を行わず、端末本体に直接電力を供給することで、電池の寿命を延ばすことができます。ただし、画面が点灯中は電池は充電されませんので、電池残量に注意してください。電池長持ち充電とダイレクト給電は次の手順で設定できます。

□ 電池長持ち充電

- ホーム画面で [設定] → [バッテリー] → [電池長持ち充電] → [電池長持ち充電を使用する]

□ ダイレクト給電

- ホーム画面で [設定] → [バッテリー] → [ダイレクト給電]

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1. 電源キーを押し続ける（3 秒以上）

お知らせ

- ロック画面が表示された場合は、画面を上へスライドしてロックを解除します。
- AC アダプタを接続して電源キーを押しても画面が表示されない場合は、電池残量が 0%になっている可能性があります。5 分以上充電してから、電源キーを押してください。

■ 電源を切る／再起動する

1. 電源キーを長押し、または電源キーと音量キーの上を同時に押す
2. [電源を OFF にする] ／ [再起動]

■ 画面を消す／つける

1. 電源キーを短く押す
 - 画面を消灯／点灯させます（スリープモードの切り替え）。

■ 強制的に電源を切る

1. 電源キーと音量キーの下を同時に 8 秒以上押し、画面が消灯した後に指を離す
 - 強制的に電源を切ることができます。

初期設定を行う

初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行ってください。

- eSIM をご利用になるときは、Wi-Fi ネットワークに接続できるようにしてください。
- Google アカウントの設定などにより表示される項目が異なる場合があります。

1. ようこそその画面で [開始]

- [日本語（日本）] をタップすると、言語を変更できます。
- [視覚補助] をタップすると、視覚補助の設定を変更できます。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - 別のデバイスを使ったセットアップ
 - ネットワークの接続設定
 - Google アカウント
 - 画面ロックの設定
 - 指紋によるロック解除とアプリ登録
 - アプリとデータのコピー
 - Google サービス
 - ブラウザと検索エンジンを選択
 - Quick Share の設定
 - Google Gemini の設定
 - Google ウォレットの設定
 - ホーム画面選択
 - 通知パネルの表示方法
 - 自分からだ設定
 - Exluder
 - FCNT サービス利用
 - 迷惑電話対策機能
 - データの送信について

2. その他の設定項目画面で各項目を設定→[設定完了]

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- あとから Google アカウントを設定することができます。
 1. ホーム画面で [設定] → [パスワード、パスキー、アカウント] → [+アカウントを追加]
- Wi-Fi に接続することができます。
 1. ホーム画面で [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]
 2. [Wi-Fi] を ON にする
 3. Wi-Fi ネットワークを選択
 - セキュリティで保護された Wi-Fi ネットワークを選択した場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続] をタップします。

ご購入時の状態に戻す

本端末を初期状態に戻します。

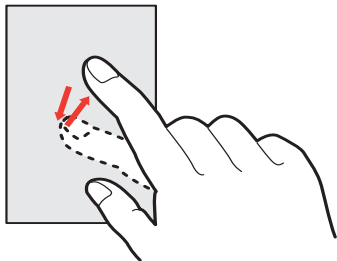
1. ホーム画面で [設定] → [システム] → [リセット オプション]
2. [全データを消去（出荷時リセット）] → [すべてのデータを消去]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。
 - eSIM を利用している場合は [eSIM を消去] にチェックを付けると、eSIM が消去され、再発行が必要になる場合があります。
3. [すべてのデータを消去]
 - リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。
 - リセットが完了して再起動した場合は、初期設定を行う必要があります。

お知らせ

- 本端末にインストールしたアプリや登録したデータは、削除されます。大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。
- 初期化中に電源を切らないでください。

タッチパネル

□ タップ

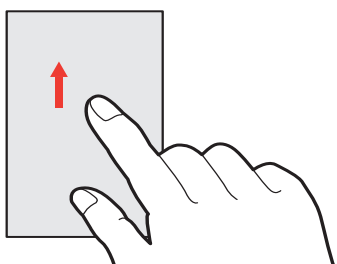


画面に指を軽く触れてからすぐに離します。

□ ロングタッチ

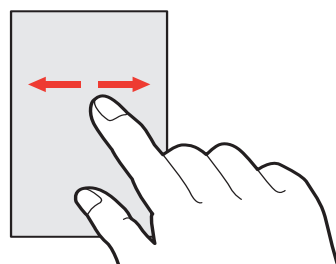
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

□ スライド（スワイプ）



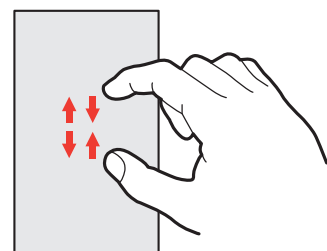
画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
画面をスクロールしたり、音量を調節したりするときなどの操作です。

□ ドラッグ



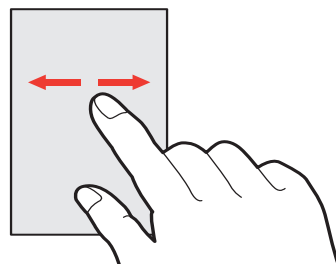
画面の項目などに指を触れたまま、目的の位置に動かします。

□ ピンチ



画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。
画面の表示を拡大したり、縮小したりするときの操作です。

□ フリック



画面に触れた指をすばやく払います。
画面内のページや項目を次へ移動する操作です。

■ 指で操作する場合の注意

- 画面を強く押さないでください。
- 濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- 爪では操作できません。必ず、指の皮膚の部分画面に触れるようにしてください。

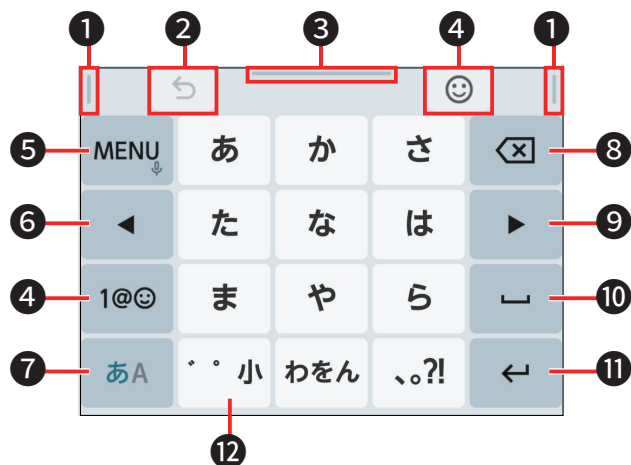
文字入力

文字入力欄を選択すると、画面上にキーボードが表示されます。

■ キーボードの使いかた

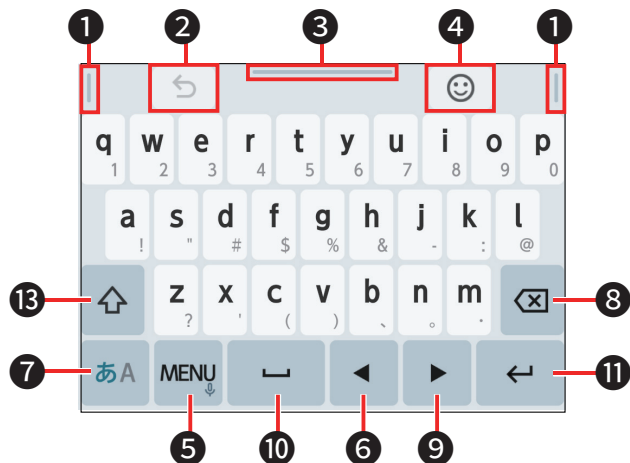
● テンキーキーボード

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。



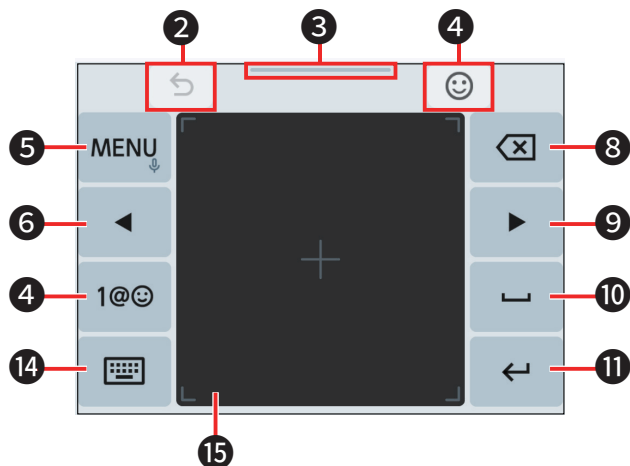
● QWERTY キーボード

ローマ字入力で入力します。



● 手書き入力

手書きで文字を入力します。



・設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

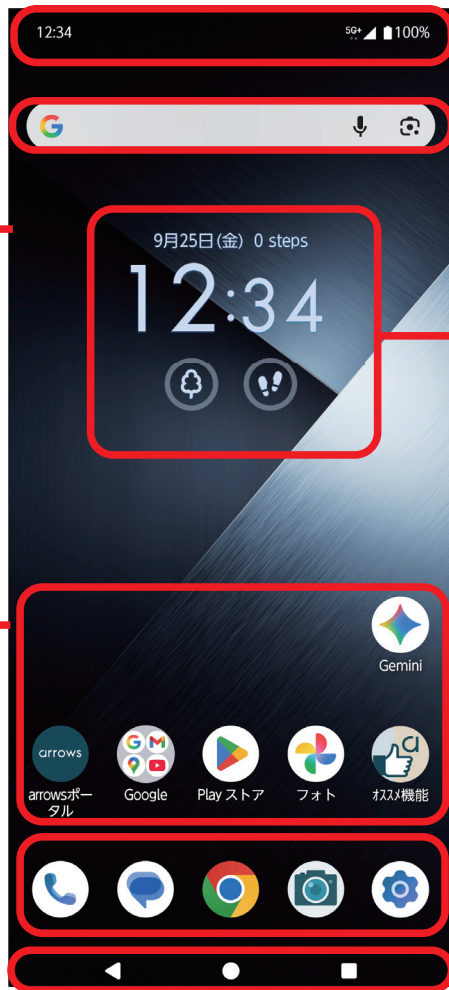
- ① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- ② 入力した文字を前の状態に戻す
- ③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- ④ 数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示
- ⑤ メニューの表示
機能の切り替えや設定を行えます。
- ⑥ カーソルを左に移動
- ⑦ かな／英字入力モードの切り替え
- ⑧ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）
- ⑨ カーソルを右に移動
- ⑩ 空白の入力
- ⑪ 文字の確定／改行、入力した文字を使用した検索や機能実行
- ⑫ 小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点をつける
- ⑬ シフトキー
- ⑭ テンキーキーボードまたは QWERTY キーボードに戻る
- ⑮ 手書き入力領域

ホーム画面

ホーム画面の内容は、ご利用の通信事業者によって表示が異なる場合があります。

カスタマイズエリア

アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。



ステータスバー

- ・ 状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。
- ・ ステータスバーを下方方向にスライドすると通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

ウィジェット（Google 検索）

ウィジェット（時計やアプリなど）

アプリアイコンショートカット

- ・ タップすると、アプリを起動できます。
- ・ ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。アプリによっては、表示されたアイコンをロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

ドック

- ・ よく使用するアプリ、フォルダを配置できます。
- ・ ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

ナビゲーションバー



バックアイコン：タップすると一つ前の画面に戻ります。



ホームアイコン：タップするとホーム画面が表示されます。
ロングタッチすると Google アシスタントを起動できます。



履歴アイコン：タップすると最近使ったアプリが表示されます。

- ・ 画面を左右にフリックして、表示したいアプリのサムネイルをタップすると、アプリを切り替えることができます。
- ・ サムネイルを上フリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには、[すべてクリア] をタップします。
- ・  (スクリーンショット) をタップするとサムネイルが表示されているアプリのスクリーンショットを保存します。
- ・  (アプリピン止め) をタップすると、サムネイルが表示されているアプリを固定する設定画面が表示され、[使う] をタップすると、アプリが固定されます。電源キーを押すとアプリの固定が解除されます。[解除時に認証を求める] を設定している場合は、電源キーを押した後に認証操作を行ってください。

セキュリティ

画面ロック機能

画面ロック機能を利用することで、本端末の起動時や画面をつけたときに画面ロックを解除しないと操作できないように設定することができます。

セキュリティ解除方法を設定する

画面ロックには、[スワイプ]、[パターン]、[PIN]、[パスワード] を設定することができます。ここでは、パスワードを設定する方法で説明します。

1. ホーム画面で [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [画面ロック]
2. 認証操作
 - ・初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。
3. パスワードを入力 → [次へ]
4. 再度パスワードを入力 → [確認] → [完了]

お知らせ

- ・設定したパスワードやパターンなどを忘れてしまうと、本端末を使用できなくなります。設定したパスワードやパターンなどは忘れないように注意してください。
- ・「セキュリティ解除方法」で [なし] を選択すると、画面ロック機能が無効になります。

画面ロックを解除する

本端末の起動時や画面をつけたときなどに画面ロックを解除する画面が表示されたら、設定した方法で解除してください。

指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う機能を搭載しています。

指紋認証機能利用時の留意事項

- ・指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- ・認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- ・デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末を USB ケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72 時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

■ 指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となる場合があります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
 - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまる場合がありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

■ 指紋登録

- ホーム画面で [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って操作3に進みます。
- 予備の画面ロック方式を選択 → 画面の指示に従って設定
- [指紋]
- 画面の指示に従って指紋を登録 → [次へ]
 - [タップしてロック解除する] を ON にすると、スリープモード中に指紋センサーをタップしてロックを解除できます。
- [完了]
 - [別の指紋を登録] をタップすると、別の指紋を登録できます。
 - 指の選択画面で登録した指をタップすると、指紋で起動できるアプリを登録できます。
 - 指紋は最大 5 件まで登録できます。
 - 指の選択画面で登録した指をタップし、 → [削除] をタップすると指紋を削除できます。

■ 指紋認証の操作

- ロック画面で、登録した指で指紋センサーに触れる
 - 正しく認証されない場合は、ロック画面を上からスワイプして、指紋登録時に設定した予備の画面ロック方式（パターン / PIN / パスワード）で認証操作を行ってください。

顔認証機能

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

■ 顔認証機能利用時の留意事項

- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性は他の認証方法よりも劣ります。

■ 顔登録時の留意事項

- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

■ 顔を登録する

1. ホーム画面で [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]
 - ・ 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って操作3に進みます。
2. 予備の画面ロック方式を選択 → 画面の指示に従って設定
3. [顔認証でロック解除] → [次へ]
 - ・ [ロック画面をスキップ] を ON にすると、顔認証後にロック画面で上にスワイプする操作をスキップすることができます。
4. 画面の指示に従って顔を登録 → [完了]

■ 顔認証の管理

顔認証時の動作の設定や、顔認証データの削除などができます。

1. ホーム画面で [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]
2. 認証操作
3. [顔認証でロック解除] → 各項目を設定
 - ロック画面をスキップ: 顔認証でロックを解除した後、ロック画面を上をスワイプする操作をスキップするかを設定します。
 - 顔認証データを削除: 登録した顔認証データを削除します。
 - フェイススキャンをやり直す: 顔認証データの登録をやり直します。

■ 顔認証の操作

1. ロック画面で、顔がインカメラの前になるように本製品を持つ
 - ・ 正しく認証されない場合は、ロック画面を上をスワイプして、顔登録時に設定した予備の画面ロック方式（パターン／PIN／パスワード）で認証操作を行ってください。

arrows passport

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。

■ arrows passport を設定する

1. ホーム画面で [設定] → [arrows オススメ機能] → [arrows passport] の [使ってみる] → 画面の指示に従って操作 → [利用する] → 認証操作
 - ・ バックアップの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
2. [新規登録] → 各項目を設定 → [完了]

お知らせ

登録した ID（アカウント）やパスワードのデータは暗号化されており、外部機器（PC や他のスマートフォン）に本端末の microSD カードを挿入してもデータを読み取ることはできません。ただし、特殊な解析手法や、将来的な解析技術の向上等により、登録データを読み取られる恐れがあるため、microSD カードの紛失や盗難には十分ご注意ください。

■ アプリ

■ アプリを起動する

1. ホーム画面で画面を上へスライド
2. アプリ一覧から起動したいアプリをタップ

■ ホームに戻る

1.  (ホームアイコン) をタップ

■ 最近使ったアプリを起動する

1. ホーム画面で  (履歴アイコン) をタップ
2. 起動したいアプリのサムネイルをタップ
 - ・画面を左右にフリックして表示したいアプリのサムネイルをタップすると、アプリを切り替えることができます。

■ 電話

■ 電話をかける

1. ホーム画面で  (電話) →  (キーパッド)
2. 電話番号を入力
 - ・電話番号を訂正する場合は  をタップします。
 - ・2秒の間を追加／待機を追加：  → [2秒の間を追加] ／ [待機を追加] → 追加番号を入力
銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信することができます。
3.  (発信)
4. 通話が終了したら  (通話を終了)

お知らせ

- ・通信事業者によってはVoLTE 緊急通報が利用できない場合があります。その場合は、ホーム画面で [設定] → [ネットワークとインターネット] → [SIMとモバイルネットワーク] → SIMを選択 → [4G 回線による通話] をOFF にしてください。3G 回線による緊急通報が利用できます。
- ・一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

■ 電話を受ける

1. 電話がかかってくる
 - ・着信画面が表示されます。
 - ・着信音、バイブレータの動作を止めるには、電源キー／音量キーを押します。
2.  (応答ボタン) を上方向へスライド
 - ・着信拒否：  (拒否ボタン) を下方向へスライド
 - ・クイック返信：  (クイック返信) を上へスライド → 送信するメッセージをタップ
3. 通話が終了したら  (通話を終了)

お知らせ

ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。

■ ご使用時におけるセキュリティに関する注意

- 無線 LAN による通信は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続できるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。
 - 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
 - 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
 - コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。
- 本来無線 LAN による通信は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。アクセスポイントなどの製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。
なお、無線 LAN 通信の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

■ 電波放射の環境と人体への影響

- 本端末は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本端末の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、本端末の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
 - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば航空機内）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本端末の使用許可について問い合わせをしてください。

■ 無線 LAN による通信を行うための注意

- 本端末は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。
- 本端末の使用時、特に無線 LAN で通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。また、本端末を設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n や IEEE802.11ax の 2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使用します。そのため、電波干渉が発生して通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。このような場合は、Bluetooth 機器の電源を切るか、Bluetooth 機器を本端末から 10m 以上離してください。

■ 干渉に関する注意

- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。

- 本端末がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本端末の電源をオン／オフすることで、本端末が原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
 - 本端末と受信機の距離を離す
 - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本端末を接続する
 - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- 本端末の不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任は負いません。
- 近くに他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔を空けるように変更して、干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器から 3m 以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

ご使用時におけるセキュリティに関する注意

- Bluetooth ワイヤレステクノロジーでは、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続できるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。
 - 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
 - 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
 - コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。
- 本来 Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。
お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

電波放射の環境と人体への影響

- 本端末は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本端末の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、本端末の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
 - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば航空機内）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本端末の使用許可について問い合わせをしてください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる通信を行うための注意

- 本端末と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内です。ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の Bluetooth ワイヤレステクノロジー用アンテナは、本端末に内蔵されています。本端末の使用時、特に Bluetooth ワイヤレステクノロジーの通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。

通信性能が低下する場合があります。また、本端末を設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。

- 本端末は、他の電気機器から離して設置してください。本端末と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかったり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、本端末の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n や IEEE802.11ax の 2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使用します。そのため、ご使用の状態によっては無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波が干渉し、他のパソコンなどとの通信速度が低下したり、Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続したワイヤレスヘッドホンなどの音質が悪くなったりする場合があります。

■ 干渉に関する注意

- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- 本端末がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本端末の電源をオン／オフすることで、本端末が原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
 - 本端末と受信機の距離を離す
 - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本端末を接続する
 - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- 本端末の不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

■ 周辺機器

周辺機器の取り付け

■ 注意事項

- お使いになる周辺機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いになる周辺機器によっては、取り付け後に設定が必要な場合があります。詳しくは周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

コネクタの接続／取り外し

■ 注意事項

- 周辺機器のコネクタの形状によっては、接続できない場合があります。周辺機器を接続する前にご確認ください。

■お手入れ

■ 本体表面の汚れ

- 乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。
- 拭き取るときは、内部に水が入らないよう充分に注意してください。
- シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。損傷の原因となります。
- 本端末はアルコール除菌シート・スプレーを使用して、噴霧または拭き取りにより、本端末の消毒や一定量のウイルス除去ができます。本端末を除菌・消毒する際には、誤動作防止のため画面を消灯してから行ってください。スプレーをご使用の場合は、本端末から 5cm 程度離し、霧吹きで噴霧して拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。アルコール除菌シートまたは液剤を浸み込ませたキッチンペーパーをご使用の場合は、製品を拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。

■ ディスプレイ／タッチパネル

- 爪や指輪などで傷を付けないように注意しながら、乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。
- ディスプレイ／タッチパネルの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。ディスプレイ／タッチパネルが破損するおそれがあります。
- 化学ぞうきんや市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは使わないでください。
 - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - 研磨剤を含むもの

携帯電話機の電波防護への適合性

この機種 M10 の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※ 1 を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz 以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHz を超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対する SAR、PD の許容値はそれぞれ 2 W/kg、2 mW/cm² です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が 1 以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値:0.948 ※ 2、身体に装着した場合の最大値:0.335 ※ 3 となっています※ 4。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常 SAR、PD はより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

FCNT の製品情報ページ

<https://www.fcnt.com/sar/m10-sim-free/>

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※ 2 5G/4G と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※ 3 5G/4G と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※ 4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 1.433 W/kg、PD（吸収電力密度）0.4631 mW/cm²、身体装着時：SAR 0.499 W/kg、PD（吸収電力密度）0.1705 mW/cm² です。

Declaration of Conformity

FCNT LLC. declares on its sole responsibility that this product (including its accessories) meets the essential requirements of the applicable EU Directives:
RE Directive (2014/53/EU)

The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
https://www.fcnt.com/support/ce/pdf/ce_m10-sim-free.pdf

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*¹ limits*² for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR*¹ value, when tested for compliance against the standard was 1.97 W/kg*³ for HEAD and 1.93 W/kg*³ for BODY. CE Head SAR (0mm) ≤ 2.0 W/kg (10 g). CE Body SAR (5 mm) ≤ 2.0 W/kg (10 g). While there may be differences between the SAR*¹ levels of various phones and at various positions, they all meet*⁴ the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- *2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
- *4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

SAR distance Warning: The device could be used with a separation distance of 0.5 cm to be human body.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- Operation of transmitters in the 5.925-7.125 GHz band is prohibited for control of or communications with unmanned aircraft systems.

Regulatory Information (e-label)

To view the regulatory information, tap the app list on your phone home screen, then tap:
Settings > About phone > Regulatory labels

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.

This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg or SPLSR (SAR to Peak Location Separation Ratio) <0.4. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network.

In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.57 W/kg*, and when worn on the body, is 1.89 W/kg (SPLSR is 0.02)*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID 2BEPUFMP205).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 0.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature, consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Battery

- Do not remove the battery from your phone yourself. If you encounter a problem, contact Customer Services.
- Use the specified charger.
- Do not expose it to temperatures above 55°C / 131 °F .
- Do not tamper with your phone using sharp metal objects because this may puncture the battery.

- If your phone has been crushed or severely damaged and the battery is affected, do not touch your phone and contact Customer Services who will tell you the procedure to follow.
- If you detect signs of overheating (abnormal smell, suspicious marks), do not touch your mobile and contact Customer Services immediately who will tell you what procedure to follow.
- Do not short-circuit.
- Recycle the battery according to local government rules.
- Do not throw into fire.
- Do not charge your phone during an electrical storm.
- Do not use your charger in a humid environment, this could cause short-circuits, fires, or damage the charger.
- Leaving a battery in an extremely high-temperature environment can result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.
- A battery subjected to extremely low air pressure may result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.

※ Temperature range(5°C to 35°C)

Warning

This device has been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

< Prevention of Hearing Loss >



High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

Temperature range(5°C to 35°C)

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。

詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

■ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

■ 商標

・「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。



・「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

・ はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

・FeliCa は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

・QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。   

・Google Play、Google Gemini、Google Wallet、Gmail は Google LLC の商標です。
Google Gemini のご利用にはインターネット接続および対応する OS が必要です。ご利用の国や使用するデバイスや言語によってご利用いただけない場合があります。

・Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

・Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

・LDAC および LDAC ロゴはソニー株式会社の商標です。

・「UD 新ゴ NT」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD 新ゴ NT」は、同社の登録商標または商標です。

・Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Direct は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。



・「Vidhance®」は Vidhance AB 社の商標です。

・ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Dolby Atmos 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。非公開機密著作物。著作権 2012-2024 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

・Adobe、Adobe Photoshop Express、および Adobe Photoshop Express ロゴは、Adobe（アドビ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

・その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

・その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

■ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
- 本製品は、AVC ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC 規格準拠のビデオ（以下「AVC ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVC ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化された AVC ビデオ、および／または AVC ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手した AVC ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、Via Licensing から入手できる可能性があります。<https://www.via-la.com/licensing-programs/avc-h-264/> をご参照ください。

■ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0 に基づきライセンスされるソフトウェアに FCNT 合同会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、次をご参照ください。ホーム画面で [設定] → [端末情報] → [法的情報] → [サードパーティ ライセンス]
オープンソースライセンスに基づき FCNT 合同会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://www.fcnt.com/oss/>
または、本製品に利用している GPL/LGPL ライセンスが適用されたソフトウェアのソースコードをご希望の方は、デバイスのモデル名、ビルド番号を含め、以下のメールアドレスにてご依頼ください。
fcntsupport@custhelp.com
- ソースコードの公開は、本製品の発売後または OS バージョンアップ後から最低 3 年間維持します。
- 本ソフトウェアは、有用性を期待して提供しますが、商品性や特定の目的への適合性を含む保証は一切いたしません。
- 本製品には、FCNT 合同会社が開発していないアプリケーションが含まれる場合があります。それらには発行元が提供するオープンソースソフトウェアが含まれることがあります。これらのソフトウェアのソースコードは、対応するライセンスの範囲内で、各発行元から入手できます。

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※を実行すると、本端末のソフトウェアを最新にすることができます。アップデートを実行するには、5G / 4G / 3G データ通信または Wi-Fi のいずれかの環境が必要です。5G / 4G / 3G データ通信を利用した場合は、パケット通信料がかかります。設定メニューからソフトウェアアップデートが必要かを確認し、更新を行ってください。ソフトウェアアップデートの反映には本端末の再起動が必要です。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

■ トラブルシューティング

よくあるトラブルと解決方法

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときやソフトの不具合などは、本書巻末の「お問い合わせ先」またはご購入元にご連絡ください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない	● 電池切れになっていませんか。
● 画面が動かない ● 電源が切れない	● 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、電源キーと音量キーの下を同時に 8 秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます ● 電源キーを 16 秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。 ※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
● 充電ができない	● AC アダプタ (別売品) をご使用の場合、AC アダプタの USB ケーブルの Type-C プラグが本端末に正しく接続されていますか。 ● AC アダプタ (別売品) の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ● USB Type-C ケーブルでパソコンから充電している場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。 ● 温度の低い場所では充電が開始されない場合があります。適正な周囲温度 (5℃～35℃) の場所で行ってください。

■ 操作・画面

● タップしたり、キーを押したりしても動作しない	● 電源が切れていませんか。 ● スリープモードになっていませんか。電源キーを押して解除してください。
● タップしても正しく操作できない	● 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。 ● ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 ● 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。 ● タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。 ● 水中で操作していませんか。
● SIM カードが認識されない	● SIM カードを正しい向きで取り付けていますか。

● 電池の使用時間が短い	- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。 - ホーム画面で  (履歴アイコン) をタップ すべてのアプリを終了するには、[すべてクリア] - 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードを ON にするか、電源を切ってください。 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 - 内蔵電池の残量表示は、劣化度や使用環境、使用状況により数値をまたぐような変化になることがあります。 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1 回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末に記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。 - 充電量を 80% に抑えることにより、内蔵電池の寿命を延ばすことができます。→ P.32
● タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末と microSD カードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
● 操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、充電しながら電話や動画の視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
● 操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない	本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電または使用中の一部機能を利用できないことがあります。
● 端末が熱くなり、電源が切れる	複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。
● ディスプレイが暗い	- 次の設定を変更していませんか。 - 画面の明るさ ホーム画面で [設定] → [ディスプレイ] → [明るさのレベル] - 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。
● ディスプレイがちらつく	[明るさの自動調節] にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。
● ディスプレイに常時点灯するドット（点）や点灯しないドット（点）がある	ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありません。

● ディスプレイに残像が残る	・しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。
● 時計がずれる	・長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻] の [日時の自動設定] / [タイムゾーンの自動設定] が ON になっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。 ホーム画面で [設定] → [システム] → [日付と時刻] の [日時の自動設定] / [タイムゾーンの自動設定]
● 端末動作が不安定	・ご購入後に本端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 次の方法でセーフモードを起動してください。 - 電源が入っている状態で、電源キーを長押し / 電源キーと音量キーの上を同時に押す → [電源を OFF にする] / [再起動] をロングタッチ → [OK] - 電源を切った状態で、電源キーを 3 秒以上押し、Powered by Android のブートアップ表示が消えて本端末が振動したらすぐに音量キーの下を押し続ける ・セーフモードが起動すると画面左下に [セーフモード] と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。 ・ストレージの空き容量が少なくなると、一部のシステム機能が動作しない可能性があります。[設定] の [ストレージ] から不要なファイルなどを削除して空き容量を増やしてください ※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。 ※ アプリやウィジェットによってはホーム画面に表示されなくなる場合があります。 ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。
● アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない / エラーが頻繁に起こる）	・無効化されているアプリはありませんか。アプリを無効化にすると、他のアプリが正常に動作しなくなることがあります。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。 ホーム画面で [設定] → [アプリ] → [X X 個のアプリをすべて表示] → アプリを選択 → [無効にする] / [有効にする] - [無効にする] を選択した場合は [アプリを無効にする] をタップします。
● データが正常に表示されない ● タッチパネルを正しく操作できない	・電源を入れ直してください。

■ 通話・音声

● 発信できない	・機内モードを設定していませんか。
● 電話が繋がらない	・SIM カードを正しい向きで取り付けていますか。 ・市外局番から入力していますか。 ・機内モードを設定していませんか。
● 着信音が鳴らない	・電話着信時の音量設定を 0 にしていませんか。 ・マナーモードを設定していませんか。 ・機内モードを設定していませんか。 ・伝言メモの着信呼出設定を 0 秒に設定していませんか。
● 通話中、相手の声が聞こえにくい ● 相手の声が大きすぎる	・通話音量を調節してください。
● 通話ができない（場所を移動しても  の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、SIM カードを取り付け直してください。 ・電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は  を表示している」状態でも、発信または着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・「優先ネットワークの種類」(「5G/4G/3G/GSM」または「5G 推奨」)を変更していませんか。 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ カメラ

● カメラで撮影した写真やビデオがぼやける	・近くの被写体を撮影するときは、被写体から少し離して zoom で撮影してください。フォーカスが可能な距離は 10cm ～となります。 ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
-----------------------	---

■ 海外利用

● 相手の電話番号が通知されない ● 相手の電話番号とは違う番号が通知される ● 電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合や、相手の電話番号とは異なる番号が通知される場合があります。
--	---

■ Bluetooth 機能

● Bluetooth 通信対応機器と接続ができない ● サーチしても見つからない	・Bluetooth 通信対応機器の取扱説明書を確認してください。 ・Bluetooth 通信対応機器と本端末の距離が離れている場合は接続できないことがあります。 ・登録済みの機器を削除して、再度機器登録をしてください。
● カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	・相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ データ管理

● microSD カードに保存したデータが表示されない	- microSD カードを取り付け直してください。 - ご使用の microSD カードの規格を確認してください。
● 画像が表示されない	- 画像データが壊れている可能性があります。 - 本端末ではサポートしていない画像フォーマットの可能性があります。
● USB ケーブルを接続しても認識しない	- USB HUB や長い USB ケーブルを使用していませんか。 USB HUB や長い USB ケーブルを使用すると正常に通信ができない場合があります。接続に使用する USB ケーブルを変えてみたり、パソコン側に複数の USB ポートがある場合は接続する USB ポートを変更したりしてみてください。 - 充電専用ケーブルを使用していませんか。 充電専用ケーブルを使用している場合、パソコン側は認識できません。データ通信に対応している USB ケーブルを接続してください。

■ NFC

● NFC が使えない	電源が入っていない状態では NFC の機能をご利用になれません。
-------------	--

■ その他

● 市販の外部機器（USB マウス、キーボードなど）が認識されない	Type-C 用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C 用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。 ※ 市販品のすべてを保証するものではありません。 HOST 機能（OTG 機能）対応と記載があるものをご使用ください。
-----------------------------------	--

■ エラーメッセージ

● 指紋ハードウェアは使用できません	指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、本書巻末に記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。
● SIM がありません	SIM カードが正しく取り付けられているか確認してください。
● 「XXXXXX※」の SIM1 の PIN を入力してください ※利用されている通信事業者名が表示されます。初回起動時は「CARD1」と表示されます。	PIN コードを有効にしているときに電源を入れる则表示されます。正しい PIN コードを入力してください。

主な仕様

CPU	Dimensity 8350 Extreme	
メモリ※ ¹	RAM 12GB ／ ROM 512GB RAM 8GB ／ ROM 256GB	
ディスプレイ	約 6.4inch Super HD（1200 × 2670）	
外形寸法（H × W × D）	約 155mm ×約 72mm ×約 8.6mm	
重量	約 187g	
通信方式	5G: n1, n3, n28, n40, n41, n77, n78, n79 4G(国内): 1, 3, 8, 18, 19, 21, 28, 41, 42 4G(国外): 1, 2, 3, 4, 5, 8, 12, 28, 38, 39, 41, 42 3G (国内): なし 3G (国外): I, II , IV , V , VIII GSM : 850, 900, 1800, 1900 sXGP : 非対応 ローカル 5G : 非対応 地域 BWA : 非対応	
カメラ	アウトカメラ (広角) : 約 5030 万画素 アウトカメラ (超広角) : 約 4990 万画素 インカメラ (広角) : 約 4990 万画素	
無線 LAN（Wi-Fi）	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠※ ²	
Bluetooth バージョン	Bluetooth Ver. 5.4 準拠	
インターフェース	USB Type-C ※ ³	
防水・防塵	IPX6・IPX8・IPX9 ／ IP6X	
耐薬品	対応薬品（エタノール、次亜塩素酸水）※ ⁴	
その他通信機能	FeliCa ／ NFC	
外部メモリ※ ⁵	microSD ／ microSDHC ／ microSDXC	
イヤホンマイクジャック	非搭載	
内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	公称容量	5370mAh
連続通話時間	RAM 12GB ／ ROM 512GB: 約 2120 分※ ⁶ RAM 8GB ／ ROM 256GB: 約 2120 分※ ⁶	
連続待受時間	RAM 12GB ／ ROM 512GB: 約 590 時間※ ⁶ RAM 8GB ／ ROM 256GB: 約 610 時間※ ⁶	
電源供給方式	AC アダプタ	

※¹ 本体内蔵のメモリは取り外しできません。また、メモリの増設はできません。

※² 対応しているセキュリティプロトコルは Enhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2-Enterprise、WPA3-Enterprise です。

※³ 本 USB コネクタは、PC との接続および充電に使用します。

※⁴ 除菌シートによるふき取りを想定した耐薬品性能です。薬品による無変色・無塗装剥れ・無変形等を保証するものではありません。

※⁵ 2GB までの microSD カード、32GB までの microSDHC カード、2TB までの microSDXC カードに対応しています。

※⁶ 当社測定基準によります。ご使用の環境により異なる場合があります。

■ 廃棄・リサイクル

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■ お問い合わせ先

下記 URL でご使用中の製品に該当するお問い合わせ先をご参照いただき、ご連絡ください。

<https://www.fcnt.com/support/>

arrows Alpha2 M10 製品ガイド

RA92999-0044

発行日：2026 年 7 月

発行責任：FCNT 合同会社

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 7-10-1

- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルに協力。